

災害や事故からくらしを守る



人の命や財産を脅かす火災



人の命を奪う交通事故

安全なくらしを守るために、どこで、どのような人たちが活動しているか話し合ってみましょう。



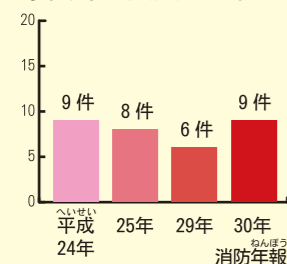
5 災害や事故からくらしを守る

わたしたちのくらしは、いつ起こるか分からない火事や事故などの危険に脅かされています。

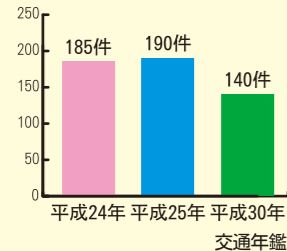
わたしたちの安全なくらしを守るためには、これらの危険から人々の命や財産を守る仕組みや働きが大切です。

そこで、消防署と警察署の仕事や、働く人々のようすについて調べ、災害や事故から人々の安全を守る仕組みや働きについて考えてみましょう。

宇美町の火災発生状況



宇美町の交通事故件数



(1) 火事からくらしを守る

宇美町では、毎年火事が起きています。火事は、わたしたちの大切な命や財産を奪います。

宇美町では、火事が起こるとすぐに柏屋南部消防署から消防士が駆けつけ、怖い火事からわたしたちの命や財産を守る仕組みができています。

消防署の施設や仕組み、そこで働く人の仕事は、どれをとっても大変で重要なものばかりです。

火事について、見たり聞いたりしたことを話し合ってみましょう。



火災発生状況（柏屋南部消防組合）

町別火災発生状況(件)	
宇美町	9
志免町	10
須恵町	4
粕屋町	6
篠栗町	7
久山町	4
合計	40

火災の内訳	
火災の種類	件数
建物火災	24
車両火災	6
その他火災	8
林野火災	2
合計	40

おもな出火原因		
順位	原因	件数
1位	たばこ	4
2位	放火の疑い	4
3位	電気機器	3
4位	配線器具	3

平成30年 消防年報



柏屋南部消防署で働く人

柏屋南部消防署で働く人は、いろんな服を着てるね。仕事によって違うのかな。





タンク車

水を2000ℓ積んで初期の消火に威力を発揮します。

粕屋南部消防署の
消防車の種類



高規格救急車

救急救命士が高度な応急処置を行います。



化学車

泡を出して油の火災に活躍します。



救助工作車

人命救助を行うための道具を積んでいます。



指揮調査車

現場にいち早く着き、指揮をしたり調査したりします。



支援車

隊員や資機材などを輸送し、消防活動を支援する車両です。



水路管付はしご車

最新式のはしご車で、高さ40mまで伸び、リモコン操作で大量の水を自由に放水することができます。

粕屋南部消防署で働く人々の仕事のようすを調べ、工夫や努力について考えてみましょう。



通報から、どのくらいで出動するのかな？



① 粕屋南部消防署で働く人

粕屋南部消防署には、写真のように、いろいろな消防車がいいつでも出動できるように準備をしています。119番の火事の通報があると、火事の種類に合わせた消防車が出動します。

消防署の人は、素早く身じたくを整え、サイレンを鳴らしながら火事の現場にいち早く駆けつけます。

火事の現場では、家の中に取り残された人がいないか確かめてから、救助活動や消火活動を行います。

粕屋南部消防署で働く人の勤務のようす

	日	月	火	水	木	金	土
第1大隊	休み	24時間仕事	休み	休み	24時間仕事	休み	24時間仕事
第2大隊	24時間仕事	休み	休み	24時間仕事	休み	8時間仕事	休み
第3大隊	休み	休み	24時間仕事	休み	休み	24時間仕事	休み

粕屋南部消防署の方の話

南部消防署では、3つの大隊に分かれています。毎日、3つの大隊が交代で、24時間の仕事をしています。朝、消防署へ来て、次の日の朝まで勤めています。朝、8時半になると、次の大隊と交代です。仕事は、消防車の点検・消防訓練・事務などです。お店や工場などの建物に行き、消防用設備の点検も行っています。

食事中や入浴中、また睡眠中でも出動指令があれば、すぐに出動します。夜中でも、わたしたちは、順番に起きて出動に備えています。寝る時も、服を着たまま眠ります。



救助訓練のようす



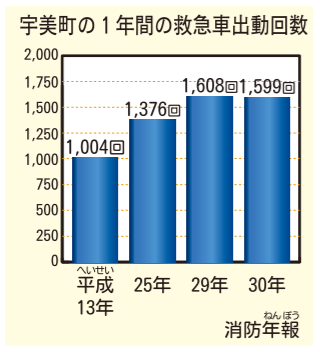
消火訓練のようす

②もうひとつの119番

消防署の仕事には、消火活動や救助活動だけでなく、救急車を出動させて、急病人やけが人を運ぶ救急活動があります。

粕屋南部消防署には、3台の救急車があります。多い日には、1日に20件以上も出動することがあります。

119番通報を受けると、まず、場所、病気やけがの具合などを確かめます。救急隊は、病気やけがの状態によって、病院に連絡を取り、できるだけ早く、安全に病院に運べるよう努力しています。



どうして救急車の出動が増えたのかな？



通信司令室のようす



毎日の朝礼のようす

③宇美町消防団の人々の働き

火事や災害に備える仕組みは、消防署の働きだけではありません。宇美町には、10の地域分団から構成される消防団という仕組みがあります。消防団に入っている人たちは、普段は、店や会社などで働いている地域の人です。火事の連絡を受けたり、サイレンの音を聞き付けたりすると、仕事を止めて消防車のある消防詰所に駆け込みます。日ごろも、自分の仕事が終わったあとに集まり、夜遅くまで訓練や地域のパトロールをしています。また、火事だけでなく、台風や洪水の時も、大雨の中で土のうを運ぶなど、災害防止や救助活動に努めています。

消防団の人たちはどんな仕事をしているのか話し合ってみましょう。



家の近くに、消防団の施設があるよ。夜遅くまで、訓練しているよ。大変そうだね。



宇美町消防会館



消防団出初式のようす

宇美町の消防団の構成図

町長	団長	副団長	本部分団	辻荒木	第5分団	桜原、馬場、下宇美、林崎、浦田、大名坂
			第1分団	上の原、障子岳、宇美東、山ノ内、飛岳1、飛岳2、飛岳3	第6分団	炭焼1、炭焼2、炭焼3、炭焼4、大名坂、四王寺、末広、貴船
			第2分団	福博中央、早見、四王寺坂3	第7分団	原田下、原田中央、原田上、明治町、仲山、四王寺坂2
			第3分団	上宇美1、上宇美2、上宇美本通り、上河原	第9分団	鎌倉、福博鎌倉、新成、四王寺坂1
			第4分団	井野、平成、ひばりが丘1、ひばりが丘2、ひばりが丘3	第10分団	三原、黒穂、柳原、神山手

消防署の人たちが、素早く消火活動ができるための仕組みについて気づいたことを話し合いました。

④ 火事からくらしや命を守る仕組み

火事が起きたとき、消防署や消防団の人々が中心になって実際の消火活動にあたります。その他、警察署の人が素早い消火活動を助けるために交通整理をしたり、電力会社やガス会社が、安全に消火活動ができるように、電気やガスを止めたりして協力します。

このように、いつ起こるか分からない災害に対して、素早く対応できるように、消防署では、日ごろから、いろいろな施設と連絡を取り合っています。

いろいろな施設の人が、協力をしながら、火事を消しているんだね！



火災が起きた時の協力体制



⑤ 火事に備えて

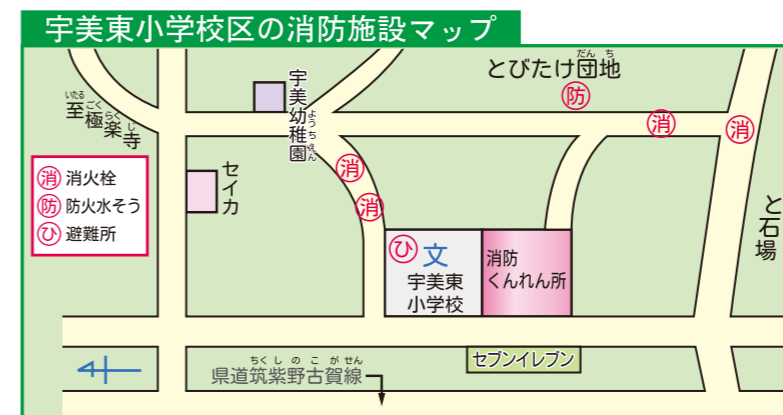
さまざまな施設の連携に加えて、いつ、どこで、どのような火事が起こっても、素早く対応し、被害を最小限に食い止めるためには、わたしたちの身の回りにさまざまな備えが必要です。自分の家の中、学校の中、身の回りの地域にあるさまざまな施設や備えについて調べ、マップをつくってみました。



避難誘導灯



地域コミュニティ消防センター



火事に備えて、家や学校や地域では、どんなことをしているか調べましょう。



防火水そう



消火栓



消火器



とても危険な交通事故

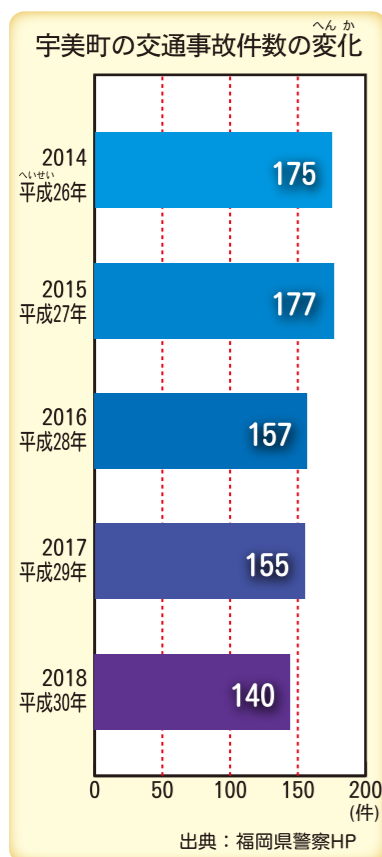
（2）交通事故からくらしを守る

①宇美町の交通事故

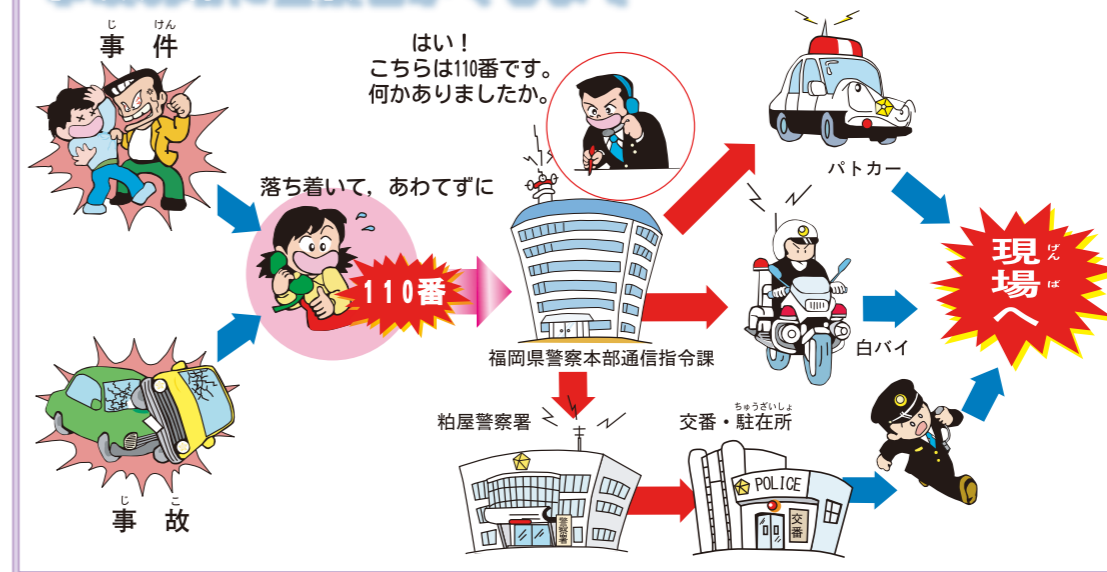
大きなけがを伴い、ときには命をも落としかねない交通事故は、とても恐ろしいものです。

宇美町の交通事故件数は、年々減少してきています。

わたしたちの宇美町では、福岡県警をはじめ、粕屋警察署や町の交番で働く警察の人々が、交通事故からわたしたちのくらしを守るために、一生懸命に仕事をしています。



事故現場に警察官がくるまで



②交通事故が起きたら

宇美町で交通事故が起きて、電話で110番通報すると、福岡県警察本部の通信指令室につながります。そして、ただちに粕屋警察署に連絡され、けが人がいれば南部消防署にも伝えられます。このように、いくつかの機関が素早く連携をとりながら、宇美交番の警察官や白バイ、パトカーの警察官、救急車の救命士などがいち早く現場に駆けつけ、けがした人を助けたり、交通整理をしたり、なぜ事故が起きたのかを調べたりします。

110番に電話すると、事故や事件に素早く対応するため、通信指令室の警察官から次のことをたずねられます。

- ①何がありましたか。
- ②場所はどこですか。
- ③いつのことですか。



③警察の人のさまざまな仕事

警察の人の仕事は、交通事故をなくす取り組みだけでなく、他にもたくさんあります。

宇美町を直接守る宇美交番の警察官は、朝9時から、次の日の朝9時まで24時間働いています。

宇美町全体を守るために、パトロールをしたり、みんなの家を訪問したりして、犯罪や交通事故を防ぐ仕事に日夜努力しています。

宇美交番だより



宇美交番だよりでは、身近な事件や事故の情報を詳しく知らせています。



登校ボランティアによる交通安全指導



小学校の交通安全教室



下校ボランティアによる交通安全指導

④交通事故を防ぐ取り組み

警察の人の仕事は、事故が起きた時の対応だけではなく、粕屋警察署の交通課では、わたしたちが交通事故にあわないように、「交通安全教室」を開いて、交通ルールを教えています。

また、他の機関やボランティアの方々と協力して、交通事故をなくすさまざまな活動に取り組んでいます。

- 信号機や横断歩道などを設置する。
- 交通違反の取り締まりをする。
- 交通の仕組みをよくする。
- マナー向上の講習会を開く。

交通事故を防ぐための取り組みについて調べてみましょう。



交通事故にあわないためには、教わった交通ルールや決まりを守ることが大切だね。

